【愛知県】

名古屋経済大学市邨高等学校

SDGs有志活動

高校生ボランティア・アワード2023

より多くの皆様と協働し、優しさを繋いでいきたい！
「地球市民」として「世界平和」のために行動しています！

コロナ禍でも現場の声を「知る」ために、ICT機器を使って集合し、専門家の方を招いた学習会を重ねました。実際の現場の状況を共有し、いま私たちにできることを話し合いました。全国から集った30,000枚以上のマスクの種類分けや梱包作業で新たに手伝ってくれる人を募ったところ、早朝にも関わらず集まってくれました。カンボジアマスク支援では、韓国・台湾,日本全国(北海道から)の国民の皆様とも連携協力してマスクを支援の届かない貧困地域へ届けることができました。

オンライン会議で中東難民支援をされている林芽衣さんとオンライン学習会（写真左）
マスクの種類分け梱包作業（写真右）

カンボジア貧困地域の子どもたちを支援するために、カンボジアで農村部の教育と生活・雇用改善に取り組まれている一般社団法人「Earth Tree」代表の「加藤大地さん」と連携しています。月１度のオンライン学習会・対談を通じてカンボジア現地の様子を学んでいます。　**中東難民支援では、難民女性の経済的自立をサポート**しているファッションデザイナー「林芽衣さん」と連携しています。難民女性が制作したカバン・アクセサリーを学校や地域のお祭で販売しました。

現地に届いた手作りマスクを着ける子（写真中央）
手作りカバン・アクセサリーを作成する難民女性の応援旗を製作中（写真右）
中東難民女性に届いた応援幕（写真左）

活動報告
振り返り

SDGs有志
勉強会

優しさ
の
連鎖

協働活動
Partnership

専門家

企業・国内外の皆様と考える
地球の人間として

現状を知ってもらう活動
優しさをつなげる募金活動

シリア・トルコ地震をうけて緊急募金活動
募金箱を手作りして商店街へ設置を依頼

「未来つなぐPROJECT」
カンボジア貧困地域の学校へ企業と協力して手洗い場を寄贈

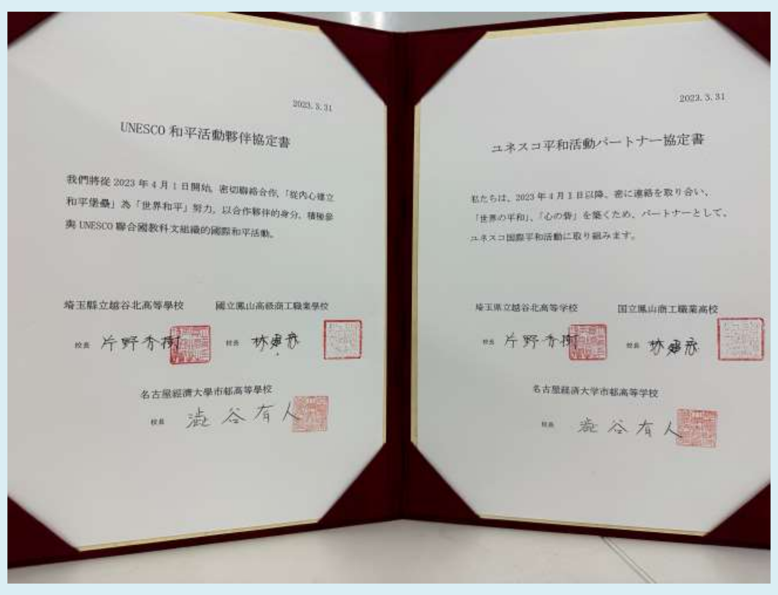
カンボジアの子ども達（写真右）

寄贈した手足洗い場を使って喜ぶ子ども（写真左）

マスク製造会社「(株)白鳩」や「ELMO」, 建設業の「三承工業(株)」,学習教材を開発している「アクティブ・ブレインズ」と連携しました。各企業のSDGsの取り組みと企業理念を深く学びました。

SDGs Expo Aichiに出展し、来場者に世界の現状（貧困地域の教育状況・難民支援の現状）と私たちの活動を報告しました。

3つ高校が協定を締結



日本の市邨高校･越谷北高校･台湾の鳳山商工高校の3校が、連携して国際平和活動を行っていくために、パートナーシップ協定を締結しました。
(2023.03.31)

「高校生によるSDGsグローバル対談」学習会を年間配信

ユニクロと協定3校の合同学習会（左） TBSジャーナリスト須賀川拓氏との対談（上）

中東ヨルダンのJICAシリア林芽衣さん、カンボジア学校建設現場加藤大地さん、ユニクロ(台湾･日本)・世界的ジャーナリストなど、国内外をオンライン接続し、地域の方との学習会を開催。YouTube Liveで発信し、年に数回、世界の貧困問題、戦争や紛争による問題について、ボーダーを超えてみんなで考えています。

SDGs AICHI EXPO2022にて(写真)

「傍観者ではいられない！優しさを繋ぎたい！」

わたしたちは、クラスや学年だけでなく、部活動の枠を飛び越えて活動しています。さらに、国内外の高校生、日本全国・地域のみなさん、企業・NPO・専門家のみなさんからたくさんのことを日々学ばせていただいています。学べば学ぶほど課題が見つかり、小さな活動に無力感を感じることもあります。しかし、皆さんの優しさから元気をいただき、次の活動へとつなげています。

私たちが大切にしていることは、学ぶだけでは終わらないということ。学んだことをたくさんの人と共有してもらうために発信を続けること。そして、当事者に寄り添う活動につなげること。「傍観者でなく、応援者だけでもない、**心を通わせて一緒になって取り組む伴走者になりたい。**」

そんな思いから始めた活動も6年目になりました。かけがえのない唯一の地球に生きる全ての人たちが**「地球市民」**として、誰一人も見捨てず、取り残さない環境づくりのための活動をこれからも続けていきたい。

「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない。（ユネスコ憲章前文）」の実現に向けて、これからも「地球市民活動」を多くの仲間と一緒に取り組んでいきます。

2019.2020.2021,2022 カンボジア教育省へ寄贈

貧困地域の公立小学校へ、ブランコ、井戸、マスクの寄贈を実施しました。今年８月には、手洗い場の寄贈を実施します。

ブランコとブランコで遊ぶ子ども達と井戸改修(写真左上下)
日本全国から１００通を超えるお手紙が届きました(写真右上)
現地教育省より感謝状をいただきました（写真右下）